第１９回　高校生日本語弁論大会　開催要項

１　目的　　日本で生活している留学生たちが感じた、外国人から見た日本を率直に日本語で表現してもらうことにより、世界からの発信を受け取り、相互理解の力を培い、多文化共生のための国際相互理解を深めることを主な目的とする。

２　日時及び日程 　令和元年８月８日（木）英語弁論大会に引き続いて開催する。

 ９時００分　　受付

９時１５分　　出場生徒への事前説明

１０時２０分　　開会行事

（１）開会の言葉

（２）審査員紹介

（３）審査基準・審査要領説明

（４）発表順の発表

（５）（英語）・日本語発表

１６時００分　　審査結果発表及び表彰

 　 　　　（５）講評及び表彰式

 （６）閉会の言葉　（閉会後記念撮影）

３　会場 　　 奈良県文化会館小ホール（奈良県奈良市登大路町６－２）

４　大会規定

（１）弁論内容

弁論内容は、国際理解、国際協力、異文化理解、多文化共生に関すること。演題は自由。高校生としての主張を含み、未発表原稿であること。

単なる感想や異文化体験でなく、本人の体験を通して、態度や行動に変容があり、多文化共生のための国際相互理解を深める視点や地球的な視点で述べられている弁論が望ましい。

（２）参加資格

【日本語弁論大会参加資格（以下のすべての条件を満たしていること）】

○各都道府県の国際教育研究協議会に加盟する高等学校の生徒または留学生

○各都道府県の国際教育研究協議会及び各ブロックにおける選考会を経て選出された生徒

○加盟校に在籍する外国籍の生徒または日本語を母語としていない生徒で、在日期間が８年以内の生徒

（３）参加者

各地区の代表１名（関東甲信越静地区は２名）および開催県（奈良県）の代表１名計９名。

ただし欠員が生じた場合は、各ブロックの次点など大会事務局で調整する。

（４）弁論時間

４分３０秒以上、５分以内であること。ただし、時間に満たない場合および時間を超過した場合には減点の対象となる。

（５）審査内容

次の項目を総合して審査する。

【論旨７０点】・トビックの選択（１０点）・文章構成（２０点）・内容の独創性（２０点）・説得力（２０点）

【態度１５点】・姿勢・視線・熱意

【音声１５点】・声の大きさ・発音・流暢さ、抑揚、リズム

（６）表彰 　　外務大臣賞 （１名）

 　　文部科学大臣賞 （１名）

 　　国際協力機構理事長賞 （１名）

 　　国際交流基金理事長賞 （１名）

 　　日本国際協力センター賞 （１名）

 　　全国国際教育研究協議会会長賞 （若干名）＊全員に賞状を出す

（７）審査員　　　　外務省

文部科学省

独立行政法人国際協力機構（ＪＩＣＡ）

独立行政法人国際交流基金

　　　　　　　　　　財団法人　日本国際協力センター（ＪＩＣＥ）

奈良県教育委員会

５　参加申込

（１）　発表要旨を、次のアドレス宛に送信してください。　※プログラムの原稿となります。

メールの表題は「日本語弁論申込・県名・高校名」としてください。

（例：「日本語弁論申込・奈良・法隆寺国際」）

maeda-tadahiko-19@nps.ed.jp

※発表要旨の締め切りは、７月１０日(水）とします。代表決定の都合で締め切りに間に合わない場合は、上記メールアドレスにその旨をご連絡ください。

なお、様式は、次の通りです。

①　Ａ４版縦　文字は全角４０字×４０行　和文はＭＳ明朝、英文はcentury、文字サイズは１１ポイントとします。

 　　　②　１行目にタイトルを左詰めで、２行目に学校名（略記しない）・学年・氏名を記

載してください。

③　氏名等の行の後、１行あけて発表原稿を記載してください。

④　発表原稿のファイル名は「日本語弁論原稿・県名・生徒氏名」としてください。

（例：「日本語弁論原稿・奈良・〇〇〇〇」）

　　　　　⑤　発表内容は提出する発表原稿と同一内容とする。